

1 単元名 北陽生き物たんけんたい～ビオトープの活動を伝えよう、広めよう～

2 単元目標

- 外山さんを通してビオトープの活動や生き物とふれ合う中で、ビオトープの自然環境について興味や疑問をもつ。また、外山さんの「たくさん子どもたちに学んで欲しい」という願いを受けて自分たちができることを考え、工夫してまとめ、たくさんの人に伝えることができる。(思考力・判断力・表現力)
- 外山さんやビオトープの会の方々と共にビオトープの活動に体験的に取り組む中で、ビオトープの活動を広めたいという思いをもち、その実現に向けて取り組むことができる。(学びに向かう力、人間性)
- 川跡ビオトープとそれを支える人の思いや取り組みがあるからこそビオトープという生き物の棲み処が残っているということを知る。また、ビオトープにいる生き物はそれぞれ特徴があり、環境によって違ってくるということを知る。(知識及び技能)

3 児童観 (児童の実態と子どもの思い)

省略

4 教材観

北陽小学校校区は人口が急激に増えている地域であり、スーパーや本屋、駅などがあり利便性の高い面と、北山や斐伊川、田畑などの豊かな自然が残る面がある。当たり前のように存在する自然環境は、児童にとって、「なくてはならないもの」ではなく、「あって当たり前のもの」という感覚である。川跡ビオトープの存在、そしてその活動は、自然を何としてでも守ろうと努力しておられる地域の方の姿や努力である。川跡ビオトープでの活動の面白さや、外山明さんの思いに触れ、交流することで、改めて自然の大切さや、自然がなくなるのではないかという問題意識を感じることができる教材である。

1～3年生を対象にポスターセッションをすることで、相手意識を持ち、それに合わせた情報のまとめ方や伝え方を考えるなど他者を意識した活動が期待できる。さらに、ビオトープの生き物に興味を持って、それらの特徴を詳しく調べ、知識を広げ、一般化していくことも可能である。問題意識を持って、友達と一緒に、課題を解決するために、協働的に学ぶ姿も期待できる。総合的な学習における資質・能力(思考力・判断力・表現力)(学びに向かう力・人間性)(知識及び技能)を、単元を通して身につけることができる教材である。

5 指導観

本単元の指導上の留意点として、以下のことに留意する。

●自分たちの思いではなく、相手の思いから学ぶ

当初、ビオトープの活動から3年生に「オリジナルブック（図鑑）」を作ろうと盛り上がっていたが、来年ビオトープに行くかもしれない3年生にどこまで伝えていいのか、ブックはどこに置けば誰もが手に取ってくれるか、など投げかけることで、子ども達に迷いが生じた。その迷いを学級で出し合い、話し合い、テーマに立ち返ることを大切にしてきた。そこで、再び外山さんに会い、外山さんがどんな思いでおられるか、ということを変更して聞くことで、自分たちの思いと外山さんの思いの「ズレ」に気づき、外山さんの思いに添った活動へと修正してきた。

また、プレ発表会で、自分たちの思いと、プレ発表会で発表を聞いてくれた人たちの思いの「ズレ」が発表会成功の鍵と考えている。アンケートから改善点を見出し、よりよい発表会を作り上げるヒントにしていきたい。

●本物（プロ）に出会うタイミング

学びを深める際に壁にぶつかる時機をとらえ、外山さんに出会う、ビオトープの活動を行う、「ゴビウス」やホシザキ野生生物研究所の方と出会うようなタイミングを計り、効果的に学習を進めることができるようにする。調べる時、思いを聞く時、表現する時などそれぞれに合った学習を行っていく。

●思考ツールの活用

客観的に整理・分析する力を高めたり、協働的な学びを生み出したりするための思考ツールを積極的に活用している。思考ツールを使うことで、自分の考えが可視化でき、それを伝える姿が見られるようになった。課題追求のための思考ツールの必要性、有効性を感じながら学びを深めるために活用している。

●見通しの持てる学習（学習のルーティン化）

「今日の学習問題」「今日のゴール」「進め方」の確認、振り返りをする事、そして、前時の振り返りを生かしながら本時を進めていくことで、子ども達の思考の流れの整理になると考える。また本時の振り返りの中で、次時への課題を明らかにすることで、学ぶ意欲を持ち、「本気で」主体的に活動に取り組む姿が期待できる。

●学級づくり

普段から話し合う活動や、友達の意見を尊重できるような雰囲気づくりを大切にしている。SSTによる聴き方や、構成的グループエンカウンター、終礼時のいいところ発表など他者意識が常に持てるようにしている。相互指名も取り入れながら学習を進めているところである。

本時は、アンケート結果を活用し、自分たちの発表への思いと発表をみてくれた人のズレを感じながら、改善点を考えていく。思考ツールは、成果と課題を表にしたものを使い、そこから改善点を話し合いながら考えていく。

6 身に付ける資質・能力・態度

思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none">・ゴールの実現に向けて、見通しをもって計画的に取り組む。(課題の把握)・ビオトープそのものから学んだり、たくさん人と関わったり、様々な方法で、工夫して情報を集める。(情報収集)・取材をして得た情報を比べ、分類したり、関連付けたりしながら整理し、自分の考えを持つ。(整理・分析)
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生にビオトープの生き物の固有性や生き物の関連性などを伝えるという相手意識、目的意識をもち、自分の意見や立場を明確にし、工夫をしながら効果的に伝える。(まとめ・表現)
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・川跡ビオトープを大切にし、体験的に取り組む中で、興味関心を持ち、ふるさとの良さを知り、ふるさとを愛する気持ちをもつ。(自己理解) ・友達と一緒に活動するよさを大切にし、一緒にたくさんの人へビオトープの良さを伝え広めようという目的意識をしっかりと持ち、アンケートの結果などを受け、改善点を考えるなど、粘り強く活動する。(協働) ・自分の意見と友達の意見を比べ、良さや違いを見つけながら、それらを大切に活動する。(対話)
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある自然や生き物は、それぞれの面白さや楽しさがあることがわかる。 ・たくさんの人が支え、守ることで今の「川跡ビオトープ」があること、さらに、自分たちもその役割を担っていることに気づく。 ・ビオトープにいる生き物は、それぞれ特徴があり、またその周辺の環境と関わりあって生きていることを知る。

7 基本単元構想「北陽生き物たんけんたい～ビオトープの活動を伝えよう、広めよう～」 70時間

小単元	小単元の学習課題と学習活動	予想される子どもの思いや願い
1	①北陽の自まんを見つけ、考えよう 8時間 ○北陽校区にあるまちの自慢を見つけ、北陽校区の良さを再確認する。 ○公共機関やお店、住宅地が多いという便利な面と、田んぼや川など自然が多いという田舎的な面を両方持つ地域であることを知る。 ○人口や住宅地が増えている事実と、残っている豊かな自然を大切にしたい気持ちを持つ。	○自分たちのまちのよさは何だろう。誰かに聞いてみよう。調べてみよう。 ○便利で嬉しいけど、自然が多いのはやっぱりいいな。
2	②北陽地区で自然を守ろうとしている人の活動をもっと広めよう 20時間 ○生き物博士外山さんと出会い、生き物に興味を持つとともに、外山さんの作った生き物の住み家ビオトープに興味を持つ。 ○ビオトープで生き物をとる体験を通して、自然の豊かさや生き物の面白さ、そして、ビオトープの良さを感じる。 ○ビオトープの活動をしている外山さんの思いを知り、	○生き物の住み家になっているビオトープって一体なんだろう。 ●生き物博士、外山さんとの出会い。 ●ビオトープでの活動 ●オリジナルブックの目的とは？問い直す。 ●外山さんにもう一度どんな思いを持っているか聞こう。

	<p>川跡ビオトープのために自分たちができることを考える。</p> <p>○「川跡ビオトープにもっとたくさんの人が行って学んで欲しい。」という願いを持ち、広める方法を考える。</p> <p>○ビオトープ発表会をなぜ行うかという目的意識と、誰に対して行うかという相手意識を持ち、計画して準備を行う。</p> <p>○計画の見通しを持つ。</p>	<p>○外山さんの思いは何だろう。川跡ビオトープのような素敵な取り組みをもっと広めるにはどうしたら良いだろう。</p> <p>○1～3年生が行きたいと思えるような発表会がしたい。</p>
3	<p>③発表会の準備をしよう・発表会を開いてビオトープの活動をもっと広めよう</p> <p style="text-align: right;">25 時間</p> <p><u>※本小単元</u></p> <p>○発表の方法を考えたり、何を伝えるかをみんなで考えたりする。それぞれの担当を決め、そのための取材を行ったりする。ビオトープへの取材へ行く。</p> <p>○1～3年生への発表する相手意識を持ち、楽しんでもらえるような発表の工夫を考える。(自分の担当の工夫、全体の工夫。)</p> <p>○ゴビウスへ行き、展示の仕方や調べている生き物について知識を広げる。</p> <p>○プレ発表会で1組・3組、外山さんらにアドバイスをもらい、より良い発表会にする話し合いを行う。</p> <p>○たくさんの人に来てもらえる工夫を考える。</p> <p>○1～3年生を招待して発表を行う。</p>	<p>○それぞれのグループで1～3年生がよろこんで聞いてくれる内容は何だろう。</p> <p>○プレゼンテーションの仕方を学んで、楽しみながら学べる工夫を考えたい。</p>
4	<p>④もっとたくさんの人にビオトープの活動を広めよう</p> <p style="text-align: right;">17 時間</p> <p>○1～3年生に発表をして、さらに自分たちでできる川跡ビオトープを広める方法を考える。</p> <p>○発表という形だけでなく、様々な形で広める活動を行っていく。</p>	<p>○もっとたくさんの人に知ってもらいたい。(幼稚園、大人)</p> <p>○発表だけでなく、ポスターや看板などで広める方法もある。</p>

- プレゼンの仕方を学ぶ学習。
- ゴビウスの展示の工夫、人が来る工夫を知ろう。ゴビウスに行こう。
- プレ発表会にビオトープを知っている人を呼ぼう。アンケートをとろう。
- 国語で学んだアンケートの書き方を使う。

8 小単元の学習活動の流れ


「発表会の準備をしよう、発表会を開いてビオトープの活動をもっと広めよう」 全 25 時間

(1) 小単元目標

- ビオトープ発表会に向けて、誰に対して何をするかを明確に持ち、必要なものを準備したり、見通しを持って取り組んだりすることができる。(思考力・判断力・表現力・・・課題設定)
- 友達と協力して、課題解決に向かって試行錯誤しながら活動することができる。(学びに向かう力・人間性・・・協働)
- ビオトープの生き物は外山さんらによって守られており、また、ビオトープの中の生き物は様々なかわりによって存在していることを知る。ビオトープの中の水生生物とふれあうことでそれぞれの生き物の特徴を知る。(知識及び技能)

(2) 小単元の学習活動の流れ

	子どもの問題意識・学習活動	○教師の手立て ☆評価規準
1 2 3	<p>③ ビオトープ発表会の準備をして、発表会を開こう <全 25 時間></p> <p>発表会で自分たちが伝えたい内容を決めよう</p> <p>・ 1～3 年生が行きたいと思うような内容を考えよう。ビオトープの活動から自分たちの伝えたいことを絞っていこう。</p>	<p>本単元に臨む子どもの姿</p> <p>子どもたちは、生き物の棲み処ビオトープを作った外山さんの「たくさん子ども達にビオトープに来てほしい」という思いを受け、1～3 年生がビオトープに行ってみたいと思えるような発表をしようと発表会を計画し、準備し、発表会への意欲を高めているところである。</p> <p>○伝えたい内容をブレイクストーミングで挙げ、それをくま手チャートで絞りっていく。</p>
4 5 6 7	<p>決まった内容をそれぞれの担当に分かれて、詳しく調べよう</p> <p>決まった内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○川跡ビオトープについて ○ビオトープの生き物 ～メダカ・ザリガニ・珍しい魚～ ○ビオトープの水生昆虫 ○ビオトープの水生植物 ○季節ごとの生き物の様子 ○外山さんについて 	<p>○ 1～3 年生に伝える内容の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ①伝えることによって伝える人が笑顔になる ②私たちにしかできないことを常に意識して内容を考える。決して 1 人よがりなものにならないように。

	<p>・図書館で調べられることと調べられないことがある。</p> <p>・川跡ビオトープの情報はインターネットでは少ないな。</p> <p>・川跡ビオトープならではの生き物についてもっとしりたいな</p>  <p>・ビオトープに行って調べないといけないな。</p>	<p>○情報収集する中で、現地にいかなければわからないこと、外山さんに直接聞かなければわからないことなどを整理する。KWLチャートで自分の思考を整理しやすくしておく。</p> <p>☆自分が調べて分かったこと、分からないこと、これから調べたいことなど整理し、次にすべきことがわかる。</p>
8 9	<p>効果的な発表の仕方を考えよう</p> <p>・自分が発表を聞くとしたら、体験的な発表がいいな。</p> <p>・1～3年生が聞くから、楽しくてわかりやすい発表がいいな。紙芝居があるといいな。</p> <p>・自分たちの調べた情報を載せた模造紙を使って、ポスターセッションがしたい。</p>	<p>○学校司書と連携をとり、どんな発表スタイルがあるか様々なものを提示するとともに、効果も考えられるようにする。</p> <p>☆相手意識をもって、わかりやすい発表のために必要なことやものを選んでいく。</p>
<p>○川跡ビオトープ⇒ポスターセッション・ワークショップ</p> <p>○ビオトープの生き物⇒ポスターセッション・実物展示</p> <p>○水生昆虫⇒ポスターセッション・立体模型を使った説明</p> <p>○水生植物⇒ポスターセッション・実物展示</p> <p>○季節ごとの生き物の様子⇒ポスターセッション・紙芝居</p> <p>○外山さん⇒ポスターセッション・写真展</p>		
10	<p>発表会の計画を再確認しよう</p>	<p>○全員で確認し、共有する。</p>
11	<p>発表の流れを考えよう</p> <p>・どんな順番で発表したらいいのかな？わかりやすくなるかな？どんな資料があるのかな。</p>	<p>○流れがわかるワークシートを使って、ストーリー作りを行う。流れの中で、どのような資料が必要かを見出せるようにする。</p>
12	<p>プレゼンテーションの仕方を学ぼう</p>	<p>○国語「報告します、みんなの生活」「みんなで新聞を作ろう」と関連付けて学習する。見出しやレイアウトなどの言葉を再度おさえる。</p> <p>○プレゼンテーションの効果についての資料を作成する。その際に使用する資料の作り方についても丁寧におさえる。</p>

13 14 15 16 17	資料を作成し、発表の練習をしよう	○相手意識を持ち、発表の聞き手があきないような効果的な発表の仕方を意識しながら発表練習を行う。 ○資料が効果的に使われているかなど、お互い見合ってより良い発表にしていく。 ☆友達と協力しながら試行錯誤良い発表のために主体的に取り組んでいる。
18	プレ発表会を開こう	○外山さん、板垣さん、司書教諭、学級司書中島さん、4年1組や3組を招待し、見てもらい、率直な感想をもらう。
19 20 本時	アンケートから改善策を見出して、さらにより発表にしよう	○アンケートをもとに個人で成果や課題を整理する。個人でまとめたのち、グループでまずしなければならない改善策に優先順位をつけて考えていく。 ☆思考ツールを活用しながら話し合い、よりよい発表のための改善策を考えている。
21 22	改善点を踏まえて発表練習をしよう	○もらったアドバイスを生かして発表練習を行う。
23 24 25	発表会を開こう	○1～3年生の実態を踏まえ、相手意識を持って、発表する。主体的に活動できるようにする。

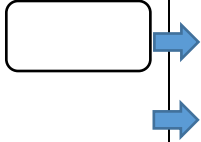
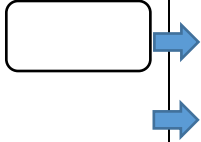
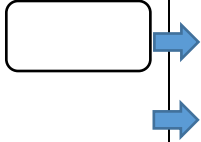
3 本時の学習 (第20時)

(1) 本時目標

プレ発表会のアンケートから見出した成果と課題をグループで分類したり、関連付けたりしながら整理し、改善策を考えることを通して、川跡ビオトープの魅力を見つめ直し、本番の発表会をよりよくしようとする意欲を高める。(思考力、判断力、表現力・・・整理分析)

(2) 本時の展開

	予想される子どもの活動と反応	☆育てたい資質能力態度 ○手立て
め あ て の 確 認 ／ 課	<前時まで> プレ発表会を行い、自分たちが見て欲しい視点で考えたアンケートをとっている。それをもとに個人で成果と課題について考えてふせんを書いている。	○本時の課題、学習のゴール、学習の進め方を確かめる。
	プレ発表会で出てきた意見をもとに、1～3年生が行きたくなるような、よりよい発表会にするための改善策を考えよう	

<p>題 を つ か む</p> <p>／ ふ か め る</p> <p>／ ふ り か え る</p>	<p>①前時の振り返りをもとに、アンケートから読み取って書き出した成果と課題のふせんを各グループで出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物を使った説明が良かった。 ・クイズが楽しかった。 ・もっと詳しく説明してほしいとあった。 ・言いたい事がよくわからなかったとあるよ。 ・もっと大きい声で、ゆっくりと。 ・さらに写真がもっとあるとわかりやすい。 <p>②グループで出し合った成果と課題をまとめる。その際に成果や課題をそれぞれの視点に分けて考え、改善策を見出す。</p> <p>③課題から考えられる改善策で特に必要感のあるものを各グループで考えて、発表する。</p> <p>④本時を振り返り、次時はこれらを生かして発表を改善していくことを確認する。</p>	<p>○自分たちの担当のコーナーのアンケートをもとに情報整理して感じたことや考えたことを発表するなかで、よりよい発表会にするための改善点を出し合うことを確認する。</p> <p>○個人で読み取ったアンケートから成果と課題をふせんに書いている。そのふせんをそれぞれが出し合って、情報をまとめていく。その際に、成果と課題をグループ分けする。課題に対しては改善策を考えていく。</p> <table border="1" data-bbox="879 719 1437 1021"> <thead> <tr> <th data-bbox="879 719 1066 770">成果+</th> <th data-bbox="1066 719 1252 770">課題-</th> <th data-bbox="1252 719 1437 770">改善策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="879 770 1066 1021"></td> <td data-bbox="1066 770 1252 1021">  </td> <td data-bbox="1252 770 1437 1021"></td> </tr> </tbody> </table> <p>○考えた改善策を提示する。</p> <p>☆思考ツールを使って、改善点を考えている。(まとめ・表現)</p>	成果+	課題-	改善策			
成果+	課題-	改善策						
								

【授業を見る視点】

- 成果と課題を整理するために思考ツールを活用したことは、アンケートの結果を整理し、改善策を考えることに有効であったか。
- 学習の流れは主体的に協働的に取り組み、思考に沿ったものであったか。